

「ともに歩む」

■ エピソード

1

和恵さんは、小学校3年生の娘のあかりさんの、3年生になってはじめての授業参観にやってきました。担任の先生はとても熱心な先生だと聞いています。

チャイムがなり、始まりのあいさつが終わって、全員が席についた時です。あかりさんのとなりの席の浩一さんが急に立ち上がり、教室から出ていこうとしました。

2



ドアを出ようとしていた浩一さんにすぐ先生が追いつきました。教室を出ようとした理由を聞くと、浩一さんは「校長先生にこれを見せに行くんだ。」と、大きな声で言いました。

先生は、「授業が始まったので、自分の席に座りましょうね。」と、注意しましたが、浩一さんは先生の言うことを聞かず、そのまますり抜けて行ってしまいました。

しばらくして、校長先生と何やら話をしながら浩一さんが教室に戻ってきました。

3

浩一さんは最近この学校に転校してきました。授業での浩一さんは、自分の興味がある問いかけには手を上げず、大声ですぐに答えを言ったり、先生や友だちの話をさえぎって自分の話をし始めたりしています。興味がないと、机に伏して消しゴムの消しカスを集めたりしています。浩一さんにつられてなのか、他の子どもたちも落ち着かず、教室がざわざわしているように和恵さんは感じました。

和恵さんのそばで立っていた保護者が、「落ち着きのない子もいるし、これでは、子どもたちは授業に集中できないんじゃないかしら。」と、つぶやきました。

4



和恵さんは、「あかりはどうなんだろう。浩一さんのこと、気にならないのかな。」と、心配になってきました。

あかりさんは、だまって授業を受けていますが、前から配られてきたプリントを取ろうとしない浩一さんに何やら話しかけながら、後ろへ送る手伝いをするなど、時々自分から声をかけているようです。

参観後の保護者懇談会も終わり、帰ろうと教室を出たところで、浩一さんのお母さんが声をかけてきました。

浩一の母

「あかりちゃんのお母さんですよ。浩一の母です。あかりちゃんにはいつもお世話になっています。ありがとうございます。うちの浩一は、落ち着きがなくて、さっきの授業でも皆さんにご迷惑をおかけしているのではないかと……。どうしたらいいのか……。」

和 恵

「……………」



和恵さんのひとりごと…

●いきなり声かけられてビックリ！

浩一さんのお母さんになんて言えばいいのかしら。お母さんもいっしょうけんめいされてるようだけど、結構悩んでもいるみたい。

浩一さん、大きな声を出したり教室を出たりして、どうしてあんな行動をするのかしら？

あと、授業が落ちつかないのも心配だわ。

あかりは浩一さんに声をかけたりしているみたいだけど、どう思っているのかなあ？

話し合いのポイント

1 あなたなら、「……………」のところで、浩一さんのお母さんにどのように言いますか？

2 授業参観で、浩一さんのお母さんはどんな思いだったのでしょうか？

3 あなたなら、あかりさんとどのようなことを話しますか？

4 集団の中で周りとは異なる行動をとる子どもがいる時、あなたはどのようにしようと思えますか？

■ 気になる行動をとる子どもの背景の一例

※ 障がいの有無にかかわらず、さまざまな場面で現れる不適応な行動(落ち着きのなさ、攻撃性の高さ、共感性の低さ、何事にも無関心や消極的な姿勢等)は、様々な要因が背景にあると考えられます。

不安や緊張が
強い場合

心身が常に、危険に
さらされている状況
にある場合

発達障がい
背景にある場合

愛着に課題を
抱える場合

参考資料:「教育相談情報提供システム～通常の学級に在籍する気になる子どもの理解～」(国立特別支援教育総合研究所HP)

■ 学校、学級に在籍している子ども達の中には、何らかの支援を必要としている子どもがいます。

通常学級において学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合	約 6.5%
-----------------------------------	--------

出典:文部科学省「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」

(平成 24 年度)



■ 発達障がいとは

- 脳の機能の特性によるものと考えられています。
- 親の子育てや愛情不足などによるものではありません。
- 早くからその特徴を理解し、適切に対応することで、生活の困りごとを減らし、子どもの力（強み）を伸ばしていくことができます

広汎性発達障がい(自閉症スペクトラム)の特徴

※これらは特徴の一例です。必ずしもこの特徴に当てはまるものではありません。

人との付き合い方の特徴

一人遊びに熱中する



話しかけているのに、しらんぷり

コミュニケーションの特徴

言われたまま受け止める
冗談が通じない

たくさんしゃべるわりに
理解していない

相手の言葉を繰り返す



しゃべり方が独特

会話がちぐはぐで
キャッチボールにならない

想像力の特徴

車や電車、時刻表に
とても詳しい

予定が急に
変更になると
混乱する

早くから数字や
アルファベットが読める



キャラクターや虫、
マークなどに凝って、
コレクションに夢中

初めての場面では
大混乱

からだの感覚の特徴

人に触られるのは嫌い
でも自分から触るのは
大丈夫

大きな音や人ごみの雑音
などが嫌い

光をまぶしがる
キラキラしたものが好き



特定の匂いが
気になってしまう

注意して ください！

発達障がいではない子どもでも、同じような特徴・行動が見られることがあります。どれかに当てはまれば発達障がいというわけではありません。

いいところさがしをしよう

周囲が本人の特徴を理解し、早い時期から適切なサポートをすれば、ゆっくりでも着実に力をつけ、その良さを伸ばしていくことができます。

「困った子」ではなく、「困っている子」
苦手を強みに変えて応援しよう

- 見て覚える、見て理解するのが得意
- こだわりが強い → 納得すれば、人一倍しっかり取り組むことができる
- 気が散りやすい → いろいろなことに興味を持って取り組める

悩みをひとりで抱え込まないで

ひとりで悩まずに、まずは、保健センターの保健師や相談機関、専門の医療機関などに相談しましょう。